

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	熊本	(2) 記載者氏名	加藤 功一	会員番号:	11771	事務局整理記入欄	熊本 - 12
分水嶺区分	K133 (国見岳)	(3) 山行日:	2004年	7月	31日	(4) 天候	曇(台風10号)

(5) 参加者氏名および会員番号

参加者氏名および会員番号				サポート要員氏名および会員番号			
加藤 功一	11771			本田 誠也	5421		
石井 文雄	13852			菅 隆雄	4439		
中根 俊男	会友			加藤 明	13845		
計				計			
3名				3名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	縦木本谷から 国見岳登山口 ~ 国見岳往復												
アプローチ:	自家用車 往復とも同じ道 (熊本-砥用-2本杉峠-泉村縦木-縦木本谷-国見岳登山口往復)												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	国見岳登山口縦木本谷	国見岳								9:50			
分水嶺到達点K133	国見岳	国見岳	131	1	6	32	32	49	1,745	12:20	13:00	A-2	(8)(9)
分水嶺離別点													
歩行終了点縦木本谷	国見岳登山口	国見岳								15:15		A-2	
総歩行時間(休憩時間を除く):										5時間			

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点 コードを記入して	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
K133	国見岳	1	S	良好	

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

K133	頂上には石造りの祠(神社)がある

(9) 水および植生に関連した特記事項

K133	頂上は8畳敷き程の広さで、周りにはシャクナゲ等の灌木となっている

(10) その他の特記事項

(1)	計画では国見岳から南へ小国見岳-五勇山-烏帽子岳へ縦走し、椎葉越から峰越林道でサポート隊と合流する予定であったが、台風10号の影響で国見岳頂上は風雨で、ガスで視界もきかないのと、縦走には4時間を要すことを考え、今日は無理と判断し元の道を登山口へ引き返しサポート隊と合流した
(2)	縦木本谷からの登りは、取り付きから急峻で、たいへんきびしい登山となった

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:	